

自治体の課題、現状

宮城県の人口は、2003年をピークに減少しており、沿岸部をはじめ仙台都市圏を除く地域では、その傾向が顕著に表われている。

県立中学校における、在籍生徒数は横ばいであるものの、休日に活動する文化部では、専門的な指導者の確保や練習場所確保などの課題が山積している。

現在は、運動部における取組が先行しており、文化部では一部の学校に部活動指導員を配置するにとどまっており、地域クラブへの移行までには至っていない。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	2 校	全生徒数	人
域内の部活動数	8 部	実施した地域クラブ数	0 クラブ
全体の指導者数	－ 人	全体の運営スタッフ数	－ 人
主な運営団体	－		
主な種目	－		
平均的な活動回数	－	年間平均参加生徒実数	3 年：－人/クラブ 2 年：－人/クラブ 1 年：－人/クラブ
参加会費	－	主な活動場所	－

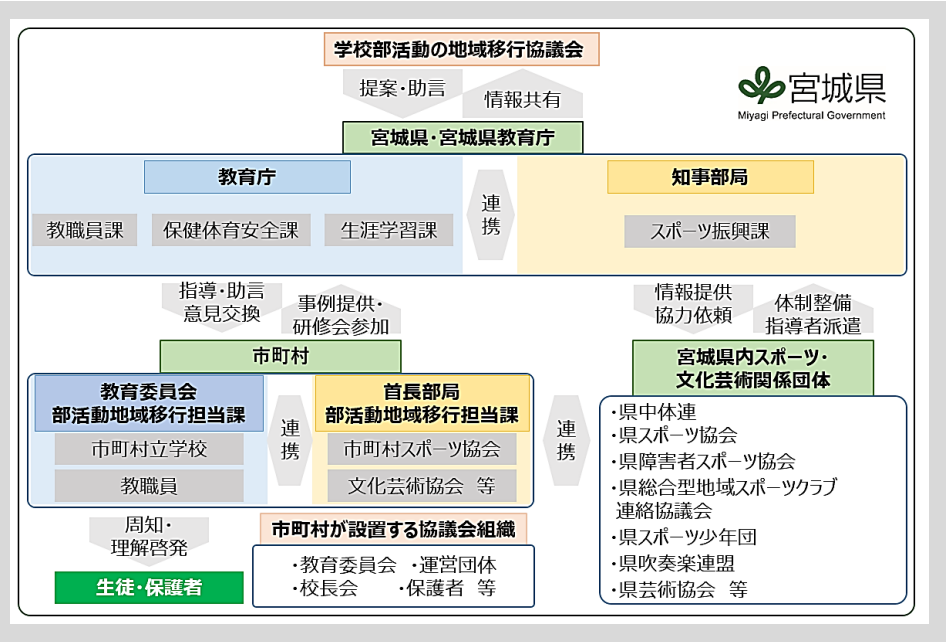
地域移行関連の取組、成果

・部活動地域移行フォーラム及び各種研修会の開催

部活動地域移行の先進的な取組を行っている自治体の担当者を招き、取組実践の紹介や地域クラブ立ち上げまでの実務的な内容について紹介を行った。

また、大学教授をはじめとした外部講師による講演や事例紹介により、理念や目的をもって部活動の地域移行を進めることの必要性について周知することができた。

運営体制図



自治体の課題、現状

課題 1：生徒数の減少
中学生の生徒数は、直近では同数程度で推移しており、令和 5 年度以降、減少する見込みとである。
また、生徒数の減少は、部活動種目の維持に対しても影響力が大きく、活動が困難となる部活動が出てくる。

課題 2：教職員の働き方改革
中学校の部活動顧問は、平日・休日問わず生徒の指導を担当し、疲弊している。教職員の負担軽減を図りながら、専門種目の外部指導者を配置することで、休日の指導軽減に資する取組が重要である。

地域文化クラブ活動等の概要

中学校数	2 校	全生徒数	6 6 3 人
域内の部活動数	2 部	実施した地域クラブ数	0 クラブ
全体の指導者数	－ 人	全体の運営スタッフ数	－ 人
主な運営団体	民間事業者		
主な種目	吹奏楽部		
平均的な活動回数	4 回/月	年間平均参加生徒実数	3 年：－ 人/クラブ 2 年：－ 人/クラブ 1 年：－ 人/クラブ
参加会費	－	主な活動場所	－

地域移行関連の取組、成果

- ・吹奏楽部については、令和 7 年度に地域移行することで合意を得た。
- ・指導者については、学校の希望に叶う人材を登用することとする。
- ・地域クラブの移行業務以外に、生徒たちに多様な体験の機会を提供するため、「＋チャレンジ」を実施。既存の部活動種目がない、お菓子作り、茶道の 2 種目により実施し、参加者からは好評を得た。

運営体制図

